

2014年7月10日

証券コード 3201

2014年11月期 第2四半期
(2013年12月1日～2014年5月31日)

ニッケグループ決算説明資料

連結業績は、売上高50,491百万円、営業利益2,944百万円、
経常利益3,160百万円、当期純利益2,009百万円となりました。



ニッケグループ新スローガン：“声”を明日につなげる

<http://www.nikke.co.jp>

I .2014年11月期(第184期) 第2四半期実績

1. 連結業績の概要について

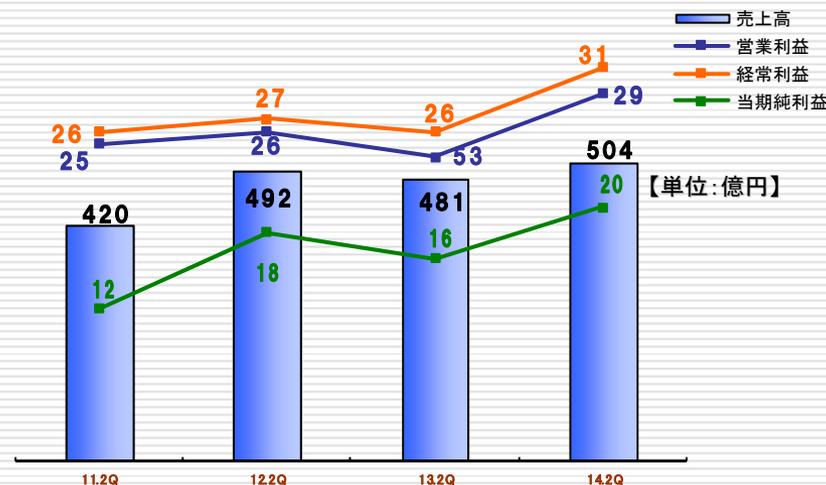
2014年第2四半期は前年同期比で増収増益

	13. 2Q実績 (百万円)		14. 2Q実績 (百万円)		前期比 (百万円)	前期比 (%)	通期予想 進捗 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)			
売上高	48,180	100.0%	50,491	100.0%	2,311	104.8%	50.5%
営業利益	2,434	5.1%	2,944	5.8%	510	121.0%	49.1%
営業外収支	250	-	216	-	34	—	—
経常利益	2,684	5.6%	3,160	6.3%	476	117.7%	51.0%
特別損益	-	-	149	-	149	—	—
四半期純利益	1,639	3.4%	2,009	4.0%	370	122.6%	57.4%

連結範囲：連結子会社45社（前期末比+2社）、持分法適用会社3社（同▲2社）、単体加え合計49社（同±0社）。

◆業績概要：産業機材事業の業績回復やソーラー売電事業、介護事業の着実な進捗に加え、新規連結会社の業績が寄与し、売上高、利益とも前年同期を上回る結果となりました。

◆自己資本比率：2014年第2四半期の自己資本比率は57.7%で前年同期比+0.6%、前期末比+0.1%のアップとなりました。



2. セグメント別業績の概要について

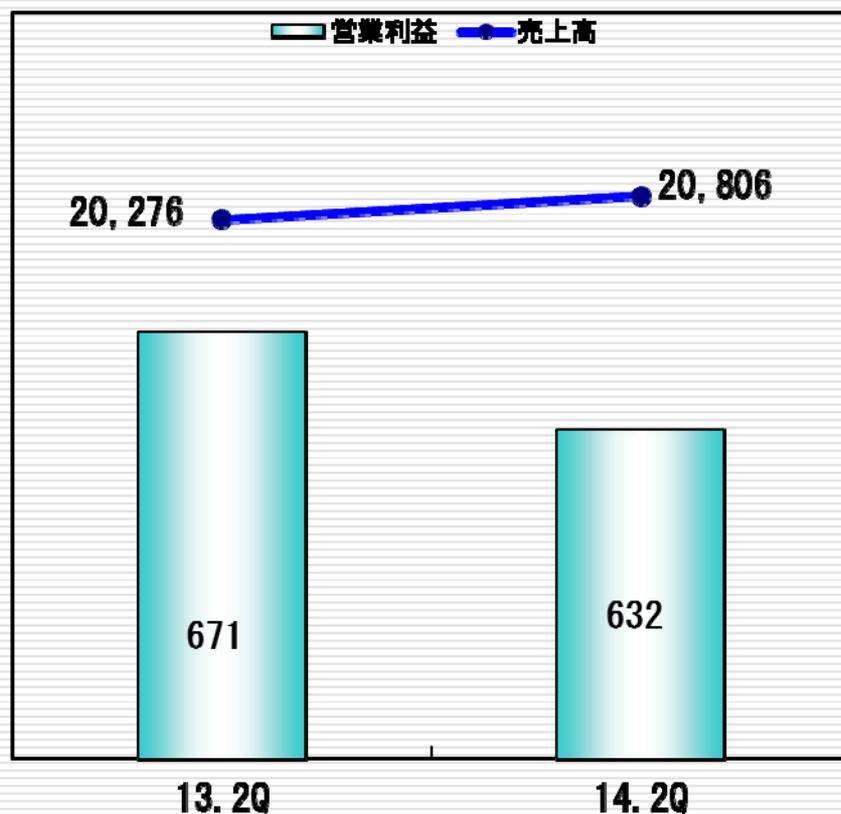
セグメント別では産業機材事業とコンシューマー事業が増収増益

【単位：百万円】

		13. 2Q実績	14. 2Q実績	増減率
衣料繊維事業	売上高	20,276	20,806	102.6%
	営業利益	671	632	94.1%
	営業利益率	3.3%	3.0%	-
産業機材事業	売上高	8,682	9,733	112.1%
	営業利益	62	299	480.2%
	営業利益率	0.7%	3.1%	-
人とみらい開発事業	売上高	7,733	7,040	91.0%
	営業利益	1,988	2,270	114.2%
	営業利益率	25.7%	32.2%	-
コンシューマー事業	売上高	11,488	12,911	112.4%
	営業利益	430	507	118.0%
	営業利益率	3.7%	3.9%	-
その他・調整額	営業利益	-717	-765	-
合計	売上高	48,180	50,491	104.8%
	営業利益	2,434	2,944	121.0%

3. 衣料繊維事業の概況について

【単位：百万円】



●売上高(前期比2.6%増)

◆売系は、商社やアパレルの縫製が中国からアセアン地域へと移行し、リードタイムが長くなることに対応した系の引取りの早期化が期間中の販売量を押し上げ増収。

◆学校制服素材、及び、官公庁向け制服素材は、ともに、ほぼ前期並み。

◆一般企業向け制服素材は、交通・金融関係の更改・更新需要の増加により増収。

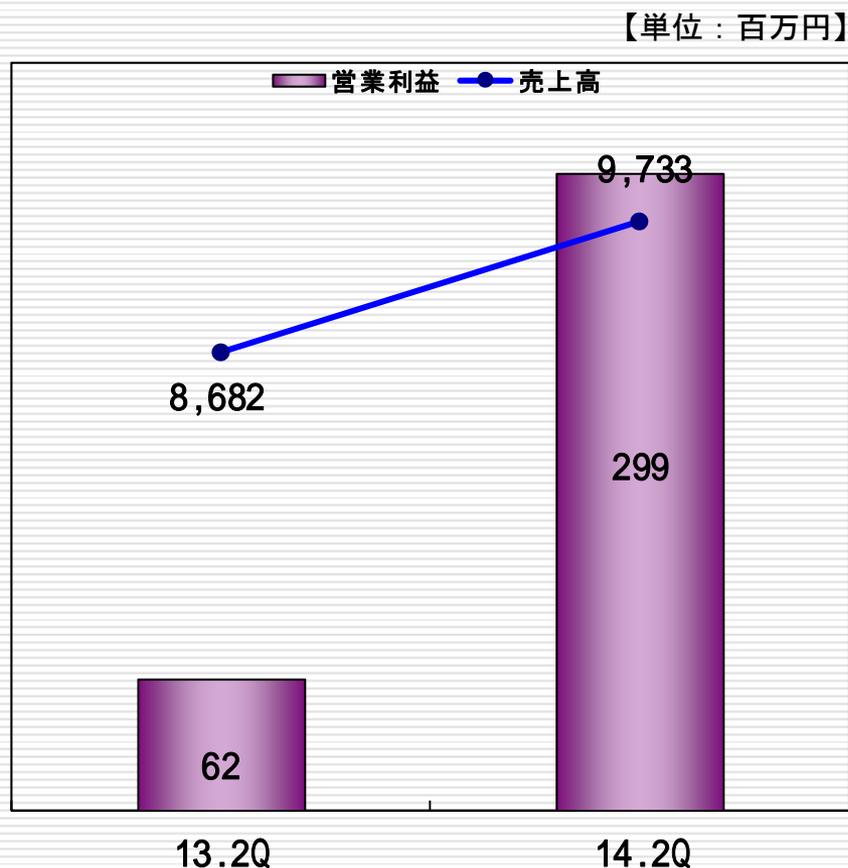
◆一般衣料向け素材は、前期に消費増税を睨んだ前倒し出荷があるも、百貨店アパレル向け春夏物受注が増えたことにより、ほぼ前期並み。

◆海外向け事業は、欧米の景況が回復するなどの好影響から新規顧客を獲得するも、既存顧客向けが伸び悩み、ほぼ前期並み。

●営業利益(前期比5.9%減)

原毛価格の高止まりや海外工場の効率悪化によるコストアップを経費削減ではカバーしきれず減益。

4. 産業機材事業の概況について



●売上高(前期比12.1%増)

◆産業用資材は、海外への自動車向け資材や、PM2.5の影響で需要の多い空調用フィルターの好調が牽引し大幅な増収。

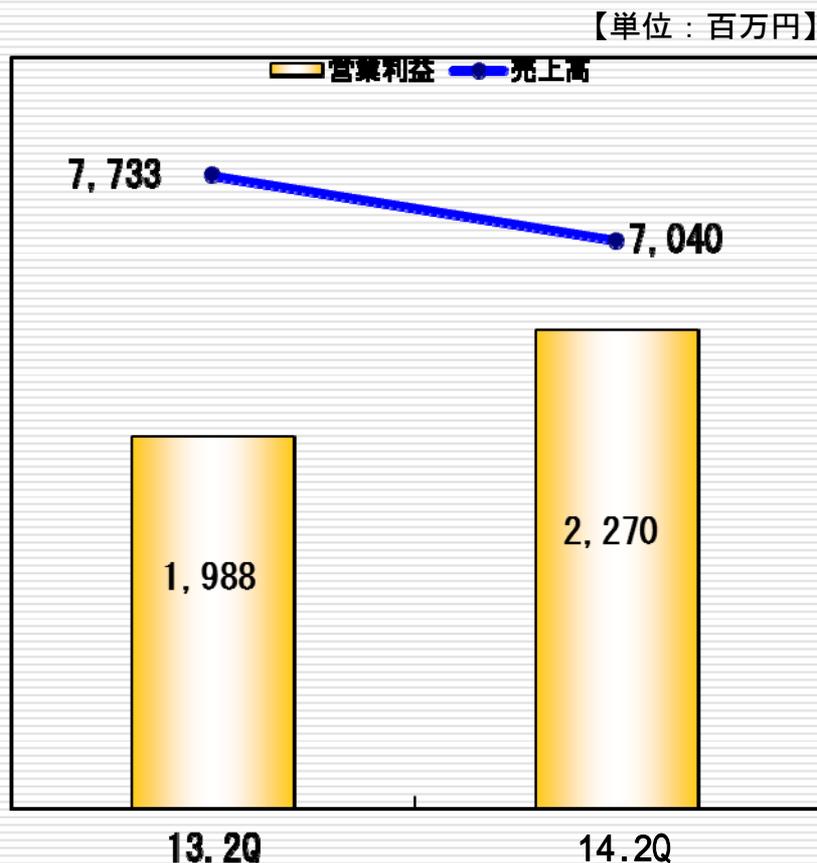
◆生活用資材は、海外からの引合いが好調な釣具は健闘するも、政情が不安定な東南アジア地域でのラケットスポーツ用品の落込みが大きく減収。

◆産業向け機械・計測器は、車載電装品製造ラインのファクトリーオートメーション装置の好調が続いたことで大幅な増収。

●営業利益(前期比380.2%増)

前期に不調だった自動車向けが好調に推移したことや、消費税増税前の駆け込み需要、中国でのPM2.5の影響で需要の多い空気清浄機用フィルターの伸び等が主な要因となり大幅な増益。

5. 人とみらい開発事業の概況について



●売上高(前期比9.0%減)

◆商業施設運営事業は、「ニッケコルトンプラザ」(千葉県市川市)では、増税前駆け込み需要の反動が軽微であったことに加えSC運営業務の新規受託もあり微増収。

「ニッケパークタウン」(兵庫県加古川市)では駆け込み需要の反動の影響も30周年イベント等の催しが売上に寄与し微増収。

◆不動産事業は、1Qにおける新規土地賃貸開始やソーラー売電事業における発電拠点数の増設により大幅な増収。建設事業は、前期ほどの大型工事がなく、大幅な減収。

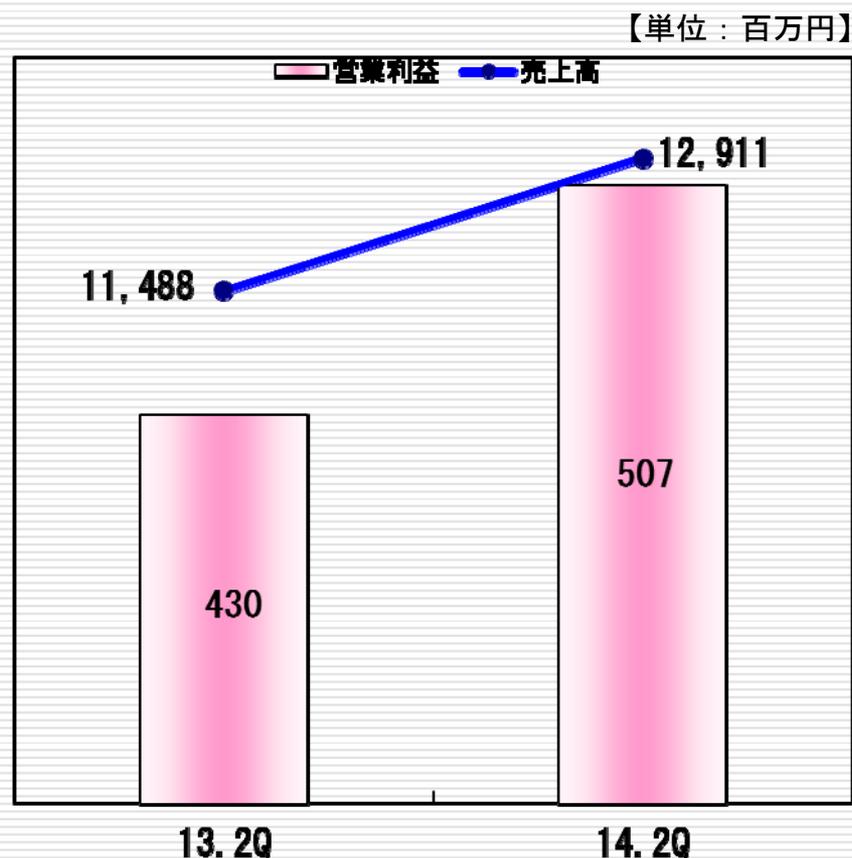
◆スポーツ事業は、ゴルフ練習場・コースにおいて入場者が激減したことにより、大幅な減収。一方テニススクールでは、テニス用品の販売拡大により増収。

◆介護事業は、既存のデイサービスに加え、介護付き有料老人ホーム、短期入所生活介護施設がそれぞれ順調に利用者数を伸ばすとともに、前年開業施設が売上げに寄与して、大幅な増収。

●営業利益(前期比14.2%増)

昨年10月から稼働したソーラー売電事業が順調に推移し、増益。

6. コンシューマー事業の概況について



●売上高(前期比12.4%増)

◆寝装事業は、災害用備蓄毛布の販売が堅調に推移するも若干の減収。

◆手編毛糸事業は、催事販売が伸びず減収。

◆貿易代行事業は、コンテナの輸入設置事業は好調も、輸入代行業務が減少し大幅な減収。

◆100円ショップ向け卸売事業は、新商品開発と、新規取引先の開拓により増収。

◆携帯電話販売事業は、スマートフォン市場の拡大、キャリア間の競争による市場活性化、前期に行った店舗の移転増床に伴う販売台数の増加が売上げに寄与し大幅な増収。

◆アイスクリーム事業とビデオレンタル事業は、前期の新規出店により増収。

◆今期より、前期に加わった個人向け保険代理店を営む株式会社ニットファミリーおよびスタンプインクなどの製造・販売を営む株式会社ツキネコの売上げが、通期で寄与。

●営業利益(前期比18.0%増)

前期に当事業本部に加わった個人向け保険代理店を営む株式会社ニットファミリー及びスタンプインクなどの製造・販売を営む株式会社ツキネコが全期で利益面に寄与したため増益。

7.連結B/S・連結C/F（単位：百万円）

連結貸借対照表	13.11	14.05	増 減
資産合計	132,931	133,238	307
流動資産	65,988	65,968	-20
固定資産	66,942	67,269	327
有形固定資産	39,697	41,140	1,443
無形固定資産	622	965	343
投資その他の資産	26,622	25,163	-1,459
負債合計	55,445	55,410	-35
流動負債	31,917	32,110	193
固定負債	23,527	23,299	-228
純資産合計	77,485	77,827	342
株主資本	70,798	72,009	1,211
資本金	6,465	6,465	0
資本剰余金	4,543	4,543	0
利益剰余金	67,402	68,625	1,223
自己株式	-7,613	-7,625	-39
その他包括利益累計額	5,791	4,921	-870
少数株主持分	895	896	1
負債・純資産合計	132,931	133,238	307

連結キャッシュフロー計算書(要旨)	13.2Q	14.2Q	増 減
営業活動によるキャッシュフロー	3,415	4,793	1,378
投資活動によるキャッシュフロー	-5,807	-2,294	3,512
財務活動によるキャッシュフロー	4,862	-1,014	-5,876
トータルキャッシュフロー	2,470	1,485	-985
現金及び現金同等物の換算差額	93	-24	-117
現金及び現金同等物の期末残高	16,191	13,570	-2,621

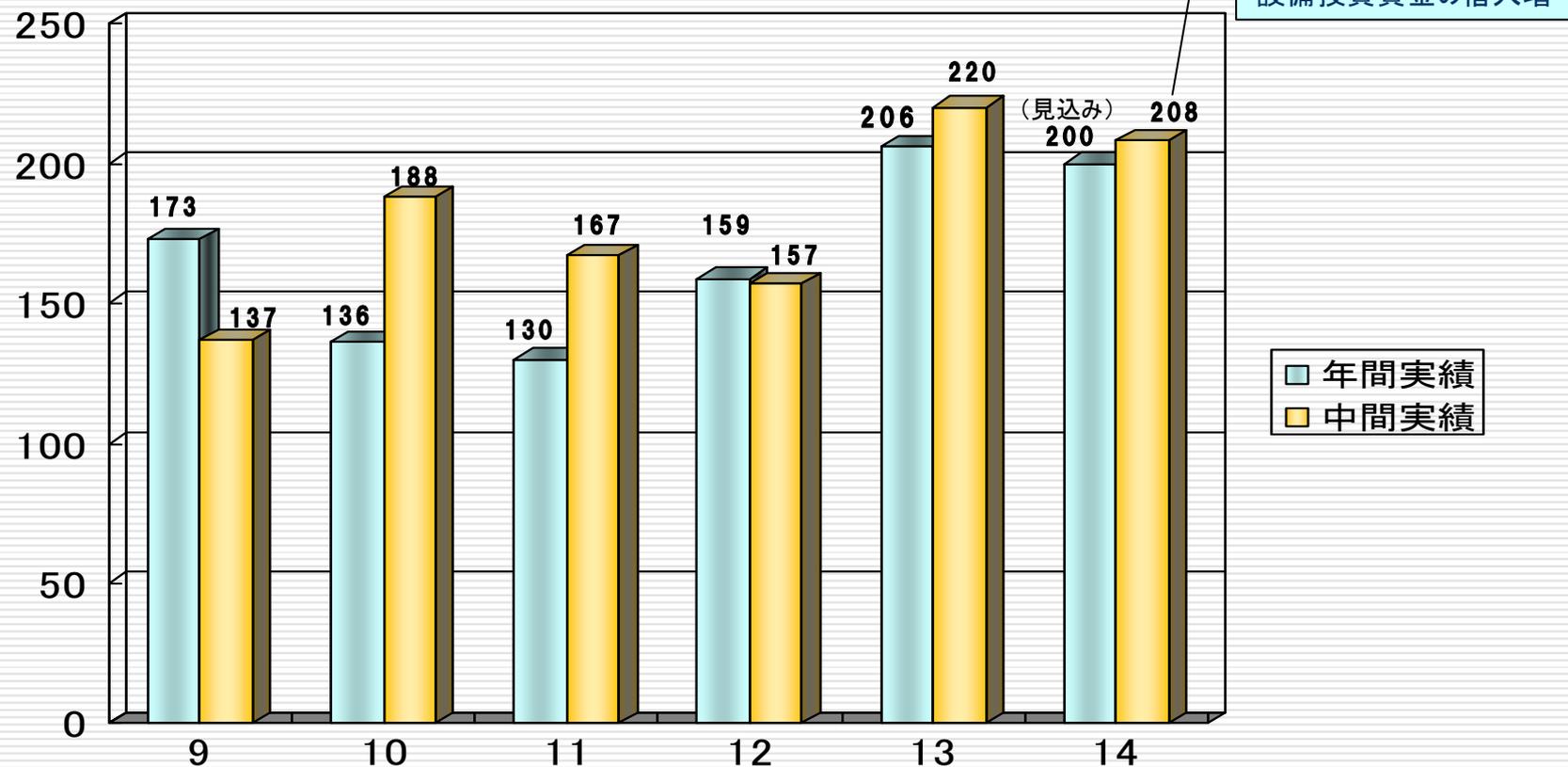
営業活動によるキャッシュフローは、たな卸資産の増加額の減少等により前期に比べ+1,377百万円収入が増加し4,793百万円の資金収入。

●投資活動によるキャッシュフローは、固定資産の取得による支出の減少や投資有価証券取得による支出の減少等により、前期に比べ3,512百万円支出が減少し、▲2,294百万円の資金支出。

●財務活動によるキャッシュフローは、長短借入金による収入の減少等により▲1,014百万円の資金支出。

8.連結有利子負債の推移

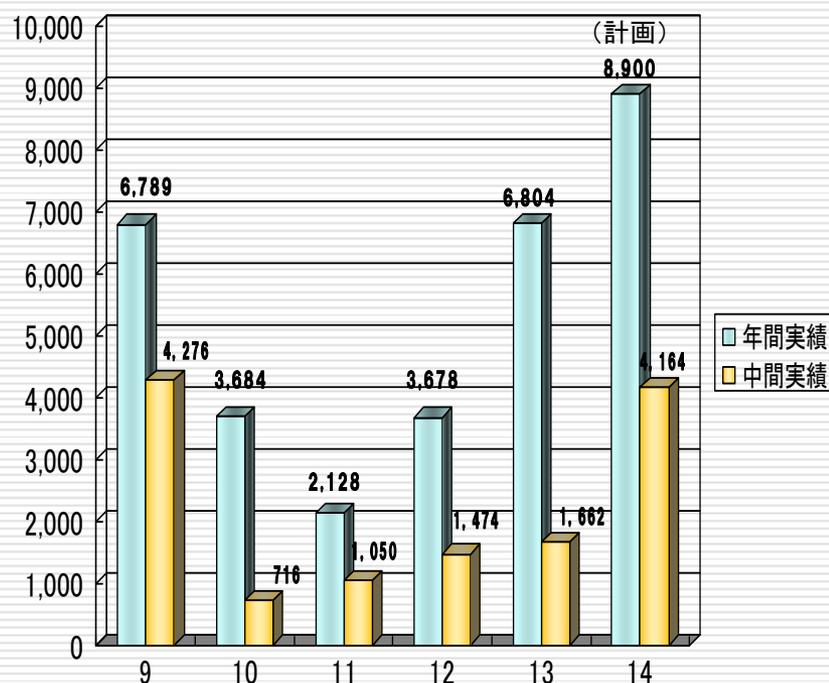
単位:億円



9.設備投資・減価償却費の推移

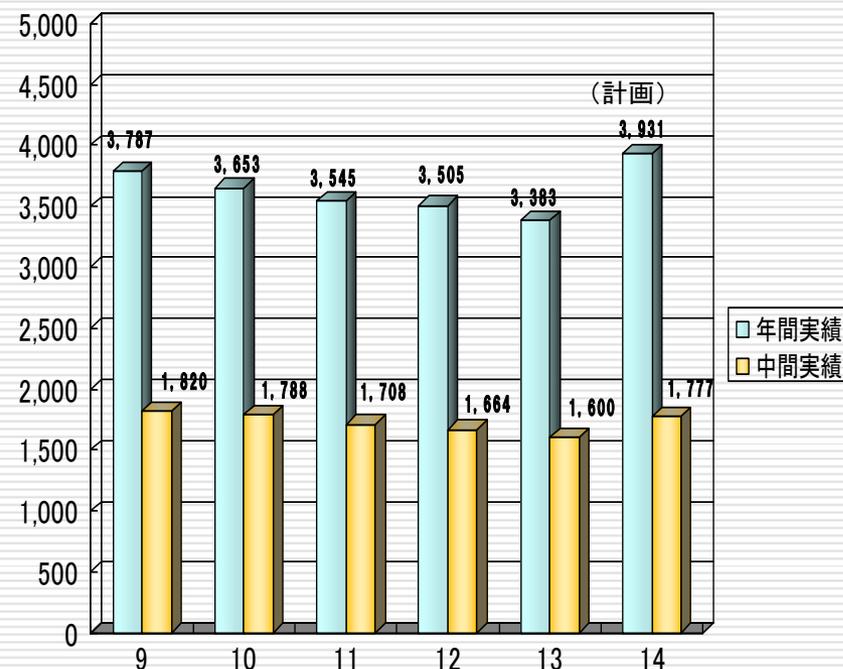
単位:百万円

設備投資の推移



単位:百万円

減価償却費の推移



資産計上の主なものは、土山メガソーラー15億円、織物工場跡地賃貸住宅開発11億円など。当期は89億円弱の設備投資を計画。

II. 2014年11月期(第184期)予想

10.当期連結業績予想

2014年11月期（第184期）の連結業績は、増収増益を予想

	13. 11実績 (単位：百万円)		14. 11予想 (単位：百万円)		前期比 (百万円)	前期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売上高	97,677	100.0%	100,000	100.0%	2,323	102.4%
営業利益	5,596	5.7%	6,000	6.0%	404	107.2%
経常利益	6,023	6.2%	6,200	6.2%	177	102.9%
当期純利益	3,346	3.4%	3,500	3.5%	154	104.6%

通期の業績予想は、セグメント別にて増減はあるものの、前回予想を据置き、連結売上高1,000億円、営業利益60億円、経常利益62億円、当期純利益35億円を見込む。

衣料繊維事業については、前期比では増収増益を見込むものの、コストアップを組織再編効果や経費削減では埋めきれず、当初予想に比べ下方修正とする。

産業機材事業については、産業用資材事業や産業用機械事業の業績回復の状況から当初予想に比べ上方修正とする。人とみらい開発事業については、建設事業の減少や開発事業の経費先行が見込まれ、減収減益予想ではあるものの、ソーラー売電事業が順調に推移しており当初予想を上方修正とする。

コンシューマー事業については、円安の影響による輸入関連事業の苦戦や消費増税の反動、経費先行事業の影響を考慮し増収減益の見通しだが、第2四半期の実績により当初予想からは上方修正とする。

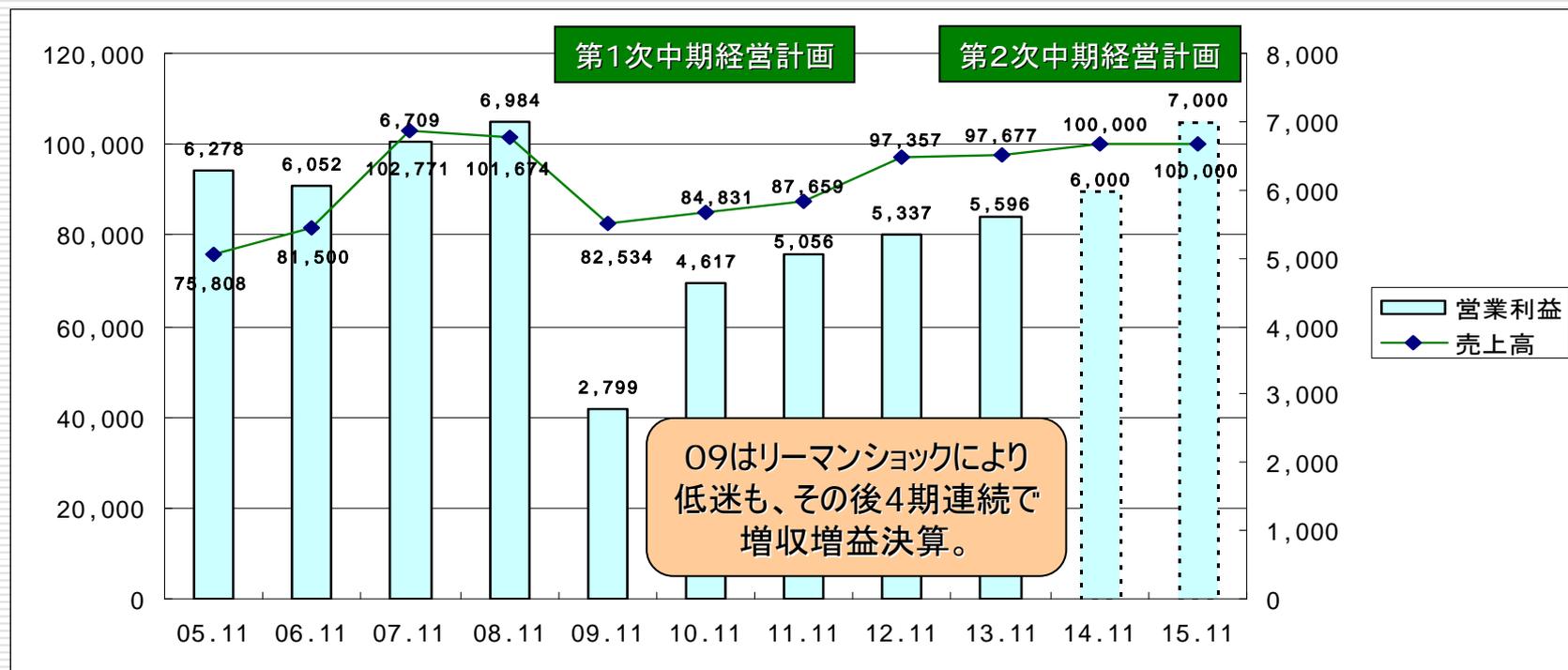
11.セグメント別業績予想（2014.7.10付）

		13.11実績	14.11予想	増減率
衣料繊維事業	売上高	41,581	42,000	101.0%
	営業利益	1,448	1,600	110.5%
	営業利益率	3.5%	3.8%	-
産業機材事業	売上高	18,602	19,950	107.2%
	営業利益	522	960	183.9%
	営業利益率	2.8%	4.8%	-
人とみらい開発事業	売上高	17,167	16,260	94.7%
	営業利益	4,247	4,100	96.5%
	営業利益率	24.7%	25.2%	-
コンシューマー事業	売上高	22,438	22,900	102.1%
	営業利益	907	800	88.2%
	営業利益率	4.0%	3.5%	-
その他・消却・調整	売上高	-2,111	-1,110	-
	営業利益	-1,529	-1,460	-
	営業利益率	-	-	-
合計	売上高	97,677	100,000	102.4%
	営業利益	5,596	6,000	107.2%

注)上記売上げには、セグメント間の売上げを含む。

12.NN120ビジョンの達成に向けて

「売れるモノ作り」や「独自のサービス」により、ニッチでリッチな市場を創造し続けることを念頭に、顧客ニーズを捉えた高付加価値の商品・サービスを提供する。2015年度には、連結売上高1,000億円以上、連結営業利益70億円以上を目指す。

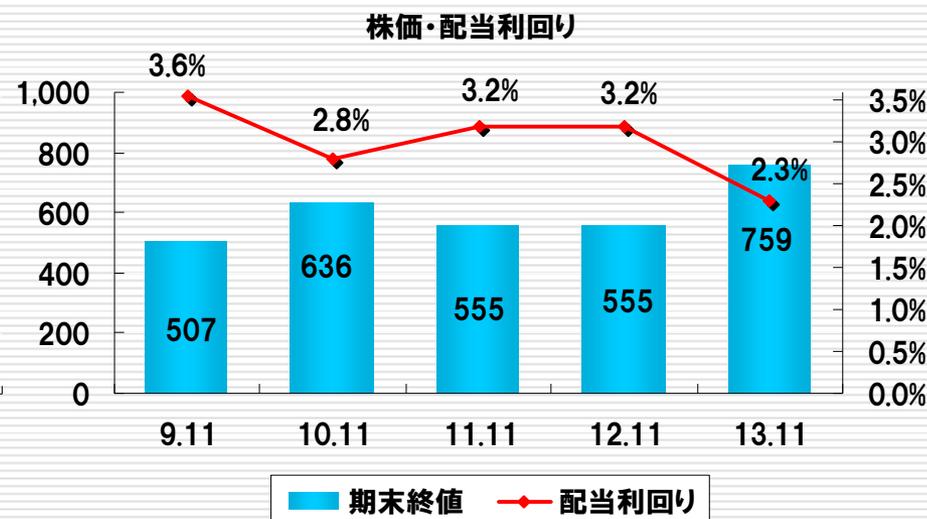


III. 株主還元方針

13.株主還元方針

利益水準に応じて持続的に配当水準を引き上げ

今期についても引き続き年間1株当たり18円を予定



参 考 資 料

(参考) 2014年11月期における重点施策の実施状況について

● テキスタイル事業の販売体制再構築

4月1日、グループ会社の株式会社中日毛織（愛知県一宮市）を母体として、ニッケのメンズ・レディーステキスタイル部門と海外営業部門を集約したニッケテキスタイル株式会社が発足しました。企画・生産・販売の距離を縮め、スピード感ある意思決定と、顧客満足の向上を目指すものです。販売面では、ウール由来の高機能素材で国内・海外の取り組み先拡大を進めます。

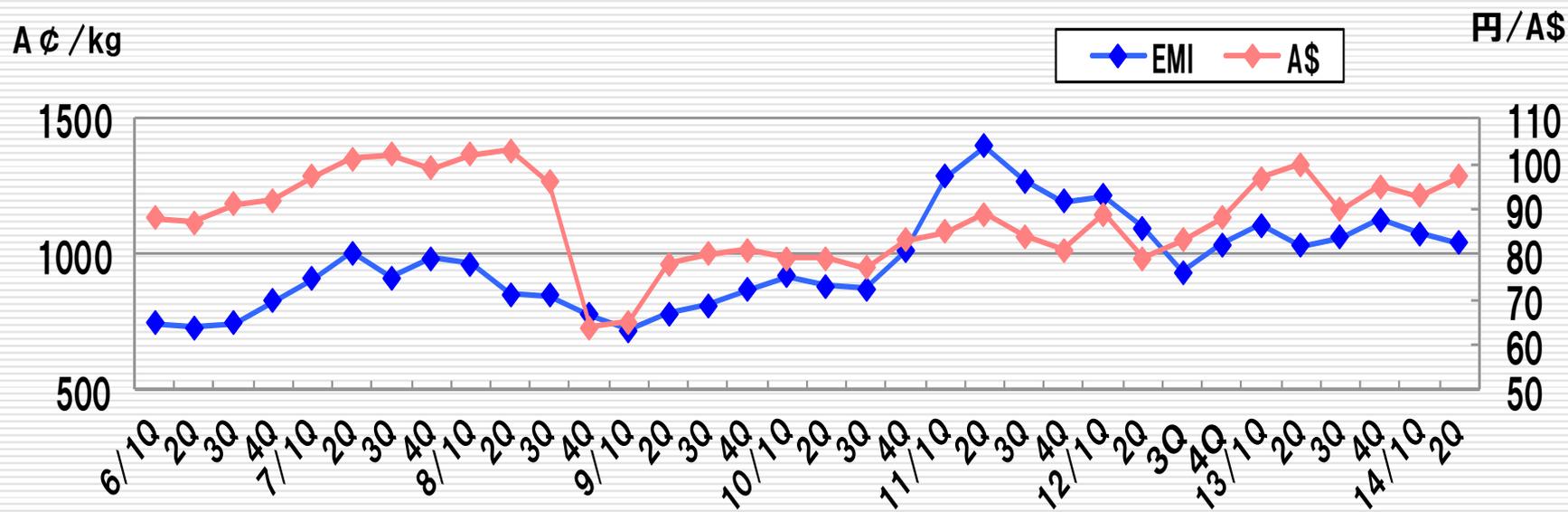
● 産業機材事業 堅調に推移

前期までに取り組んだ事業構造改善等の効果により、第2四半期の累計で前年同期比売上高112.1%、同営業利益480.2%と大幅な増収増益を実現いたしました。特に自動車関連資材やPM2.5の影響で需要の多い空調用フィルターが牽引して、通期の売上高および営業利益はともに当初計画を上回る見通しとなっております。

<通期業績予想>

売上高	19,950百万円	(計画比+120百万円)
営業利益	960百万円	(計画比+120百万円)

(参考) 羊毛相場・為替相場の推移について



(参考) ニッケグループのホームページとfacebookのご案内

ニッケグループ ホームページ

<http://www.nikke.co.jp>

facebook

<http://www.facebook.com/nikke.group>



う~るん

●●●ニッケグループのさまざまな表情を発信していきます

(参考) ニッケグループの経営理念・経営方針について

経営理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループとして、わたしたちは情熱と誇りをもってチャレンジして行きます。”

- ウールで培った技術の追求と環境への配慮により、新しい価値を創造します。
- 心を込めて人間家族や地域社会に貢献し、たしかな生活文化を創造します。

経営方針

- 社員の幸せを追求し、希望と生きがいの持てる企業グループを目指します。
- 企業価値の最大化を通して、顧客や株主との持続的な信頼関係を築きます。
- 研究開発を強化し、品質と感性・革新性に根ざしたNo.1の商品とサービスを提供します。
- 変化をチャンスと捉え、既存事業の改革と新規事業の開拓に挑戦します。
- 人材開発を重視し、各分野におけるプロフェッショナルとして行動します。

- 祖業に関りの深いウールが持つ「やさしく、あったかい」をニッケグループの企業イメージとし、人々にもとの心の豊かさを提供して、地球環境に調和するために、グループ社員の一人ひとりが**情熱と誇りをもってチャレンジ**することを経営理念といたします。この経営理念に裏打ちされた事業の成長により、企業価値を持続的に高めて参ります。
- 「繊維」「非繊維」の意識を廃し、全ての事業が主役と認識して、共通の経営理念・方針をもつ事業複合体と考え、さまざまな分野で、お客様に満足頂ける商品やサービスを提供してまいります。

(参考) 主要なグループ会社について

●衣料繊維事業

(株)ナカヒロ(大阪府中央区)、アカツキ商事(株)(東京都墨田区)、佐藤産業(株)(東京都千代田区)、大成毛織(株)(愛知県一宮市)、ニッケテキスタイル(株)(愛知県一宮市)、尾州ウール(株)(愛知県一宮市)、南海ニッケヤーン(株)(愛知県一宮市)
青島日毛織物有限公司(中国山東省)、江陰日毛紡績有限公司(中国江蘇省)
南海ニッケ・トレンガヌ社(マレーシア トレンガヌ州)
南海ニッケ・マレーシア社(マレーシア セランゴール州)

●産業機材事業

アンビック(株)(兵庫県姫路市)、(株)ゴーセン(大阪府中央区)、(株)ニッケ機械製作所(兵庫県加古川市)

●人とみらい開発事業

ニッケ不動産(株)(神戸府中央区)、(株)ニッケ・ケアサービス(愛知県一宮市)、(株)ニッケインドアテニス(愛知県あま市)、(株)ニッケレジャーサービス(愛知県弥富市)、

●コンシューマー事業

ニッケ商事(株)(大阪府中央区)、(株)双洋貿易(神戸府東灘区)、(株)ニッケ物流(愛知県一宮市)、(株)友栄(大阪府枚方市)、ニッケアウデオSAD(株)(兵庫県芦屋市)、(株)ジーシーシー(大阪府中央区)
(株)ツキネコ(東京都千代田区)、(株)ニットーファミリー(神戸府中央区)

「ウールのニッケ」から“人と地球に「やさしく、あったかい」企業グループ”へ

NIKKE
Group

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。



う～るん

IRに関するお問い合わせは…
ニッケ(日本毛織株式会社)
経営戦略センター総務法務広報室
TEL 06-6205-6601
IRページ <http://www.nikke.co.jp/ir/index.html>